

平成30年度 第3回 朝日地域振興懇談会

次 第

日 時 平成30年10月30日（火）

午後1時30分開会

場 所 朝日庁舎4階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協 議

(1) 朝日地域振興計画について

事前配布資料1

(2) 地域まちづくり未来事業について

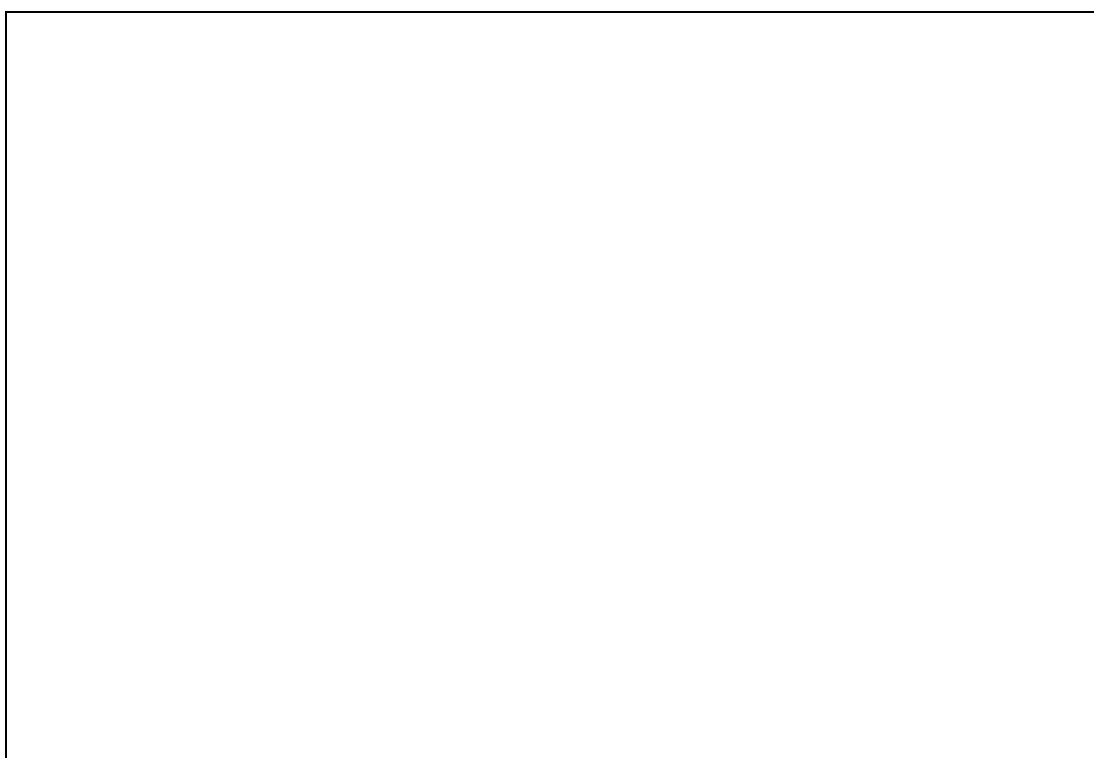
事前配布資料2

(3) その他

4. その他

5. 閉 会

【案】朝日地域振興計画



平成 3 0 年 1 0 月作成

平成 3 0 年第 3 回朝日地域振興懇談会資料

1 計画の策定趣旨

平成17年10月1日の合併により誕生した鶴岡市では、平成21年1月に「人 暮らし 自然 みんないきいき 心やすらぐ悠久のまち 鶴岡」を目指す都市像とする「生命 いきいき文化都市創造プラン 鶴岡市総合計画」を策定しています。

また旧町村においては、各地域で築かれてきた地域特性や地域固有の資源を活用した特色あるまちづくりを推進するため、平成20年3月に「地域振興ビジョン」を策定しています。

その後「鶴岡市総合計画」の見直しと合わせ、総合計画との整合性を図りながら、朝日地域の資源や特性を生かした地域振興をさらに推進していくための計画として平成26年に平成30年度までの5年間の計画として「地域振興計画」を策定しています。

「地域振興計画」においては、朝日地域で重点的に取り組む基本方針として、「山の恵みを生かした複合農業の推進」、「山村生活文化の継承による地域づくり」を掲げ、各種施策に取り組んできました。

しかし、策定から5年が経過した現在、少子高齢化の進行や転出者の増加による世帯数の減少など、地域を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

そこで今回、第2次鶴岡市総合計画の策定と合わせ、総合計画基本構想との整合性を図りながら、地域の資源や特性を生かした地域振興をさらに推進していくため、新しい朝日地域振興計画を策定するものです。計画期間は鶴岡市総合計画の前期に当たる平成31年から平成35年度までの5か年とし、朝日地域の更なる振興に向けた取り組みを展開していきます。

2 地域の概要と特性

(1) 地理的条件

朝日地域は、総面積569.17km²と鶴岡市の総面積(1,311.51km²)の約43.4%を占める広大な面積を抱える地域です。

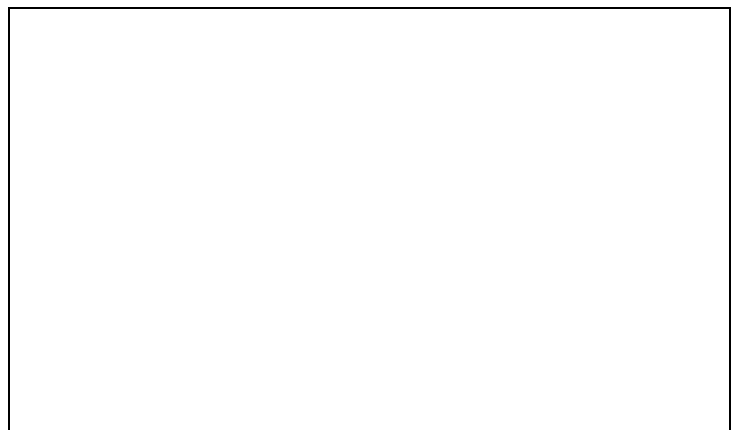
東には月山、南には朝日連峰がそびえる山間に囲まれた地域で、東の梵字川、西の赤川とそれぞれ河川沿いに集落が点在しています。

東西の河川沿いに国道112号、主要地方道余目温海線、県道鶴岡村上線が通るとともに、山形自動車道が梵字川沿いを南北に縦断しており、国道112号は内陸方面からの庄内の玄関口となっています。

気象条件としては、日本海側の気候で冬は北西の強い季節風が吹雪となって吹き荒れるとともに、山間地は全国的にも有数の豪雪地帯です。

(2) 社会的条件

朝日地域は38集落で構成される地域で、人口は4,079人と鶴岡市の人口127,390人の約3.2%を占めるに過ぎず、人口密度も極めて低い状況にあります。(人口は平成30年9月末 住民基本台帳による)人口減少も特に中山間地で顕著であり、少子高齢化が進行しています。

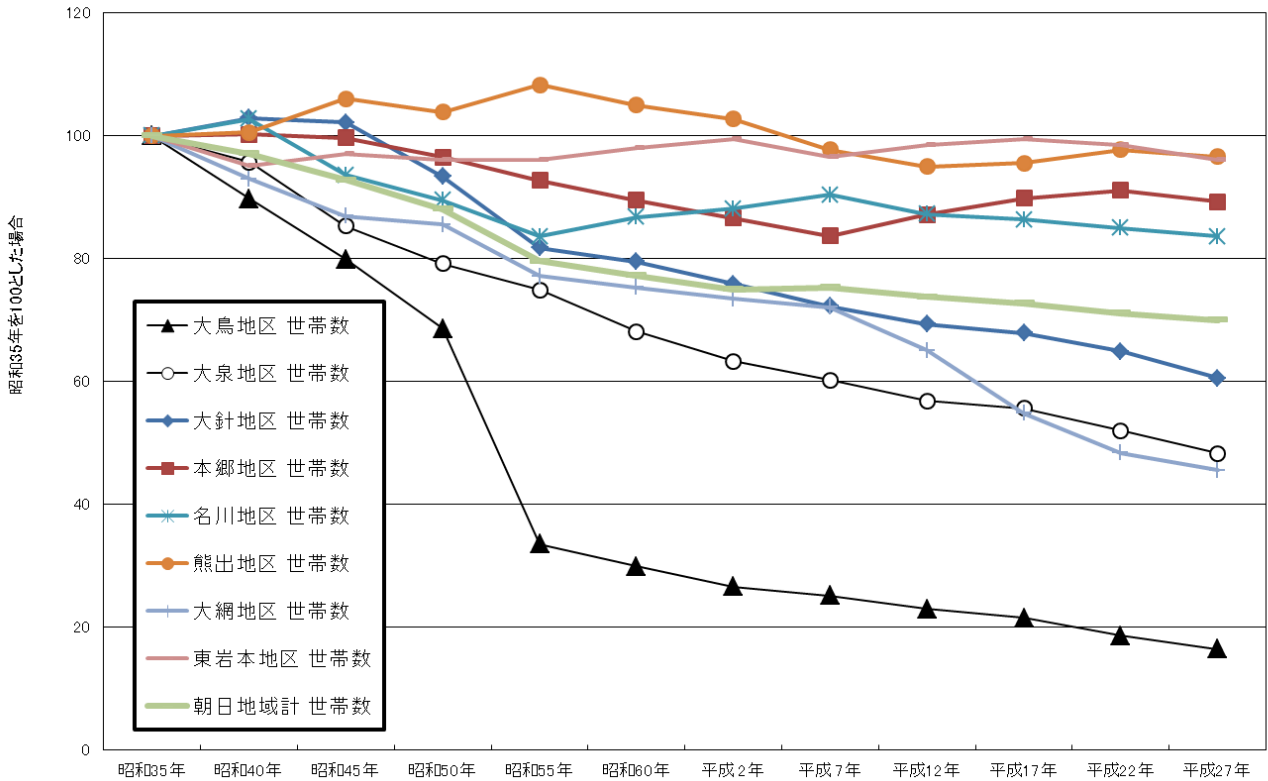


3 朝日地域の重点的な課題とその対応の検討

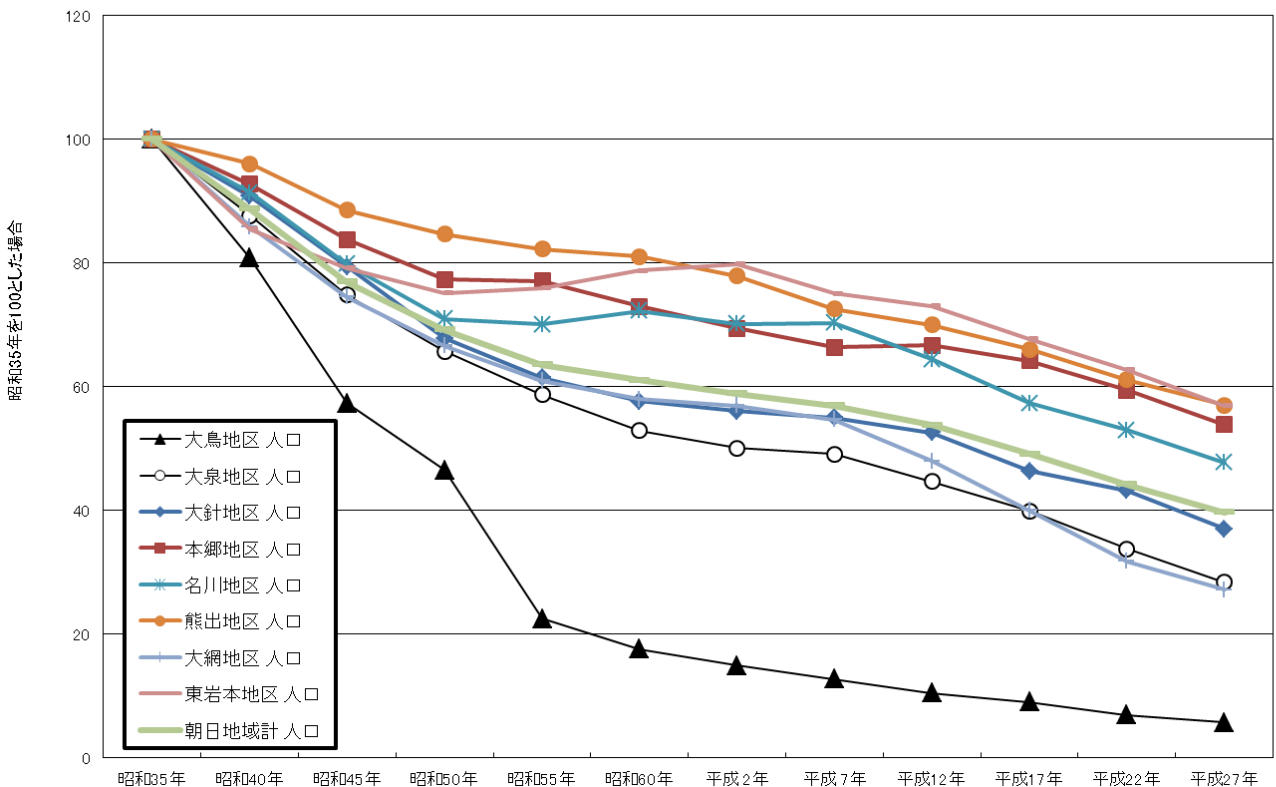
(1) 「人口減少・少子高齢化に対応した地域コミュニティの検討」

朝日地域全体として、世帯数、人口共に大きく減少が続いています。

(昭和35年から平成27年まで)朝日地域世帯数の推移



(昭和35年から平成27年まで)朝日地域人口の推移



* 熊出地区はかたくり荘施設入居者含まず

昭和35年の世帯数・人口を100とした場合、朝日地域全体で世帯数70、人口39.6と大きく減少しています。

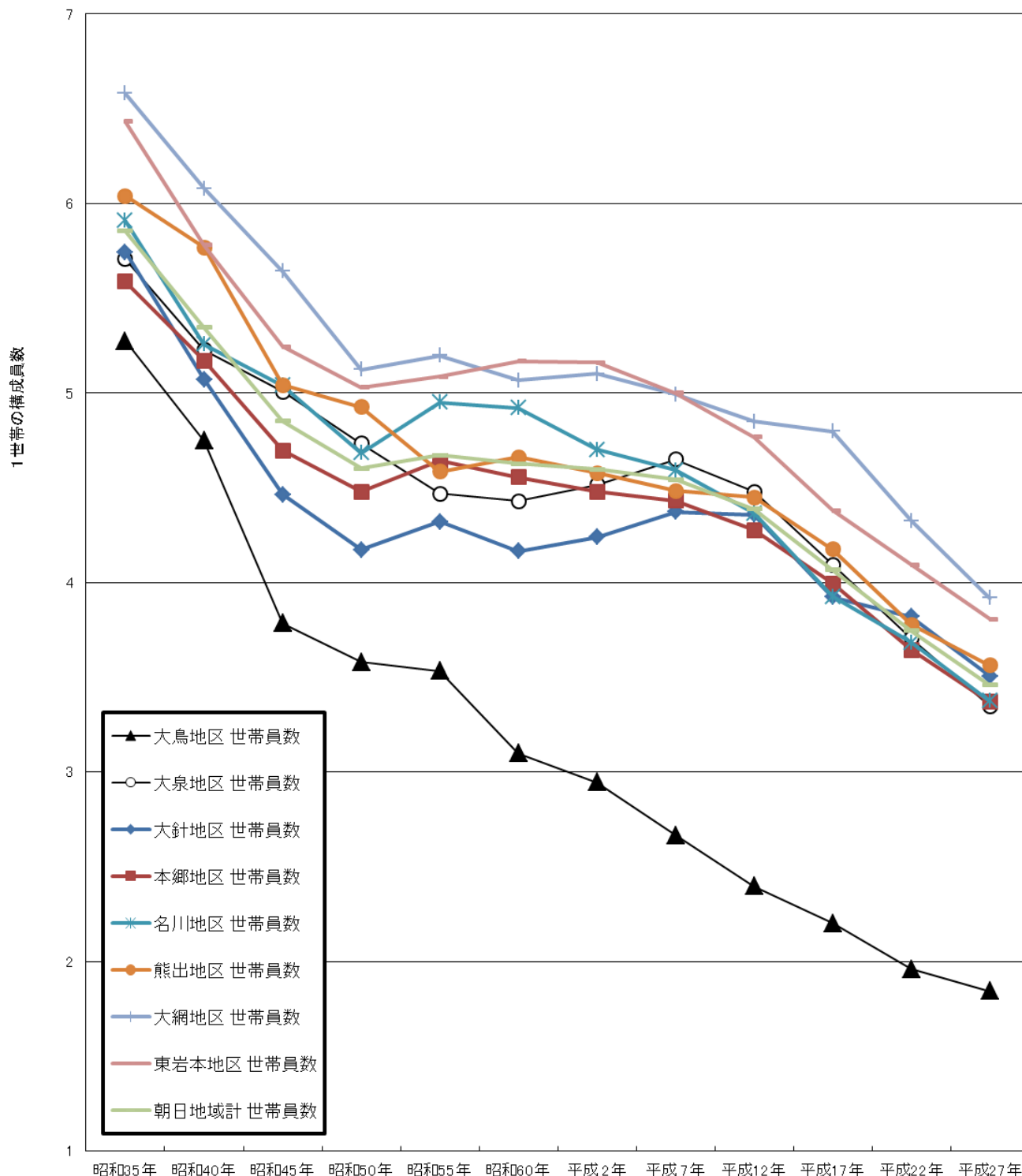
特に大鳥地区は世帯数16.4、人口5.7と極めて大きく減少していますが、これは昭和54年の大泉鉱山寿岡選鉱場及び柘形採鉱場閉山を理由としていると推測されます。

平成27年10月作成の「鶴岡市人口ビジョン」において、今後も市全体で人口減少が予測されており、特に朝日・温海地域の減少が顕著であると考察されています。

ただし、朝日・温海地域ともに減少要因には、純然な自然減等の他、市内における他地域への転居等もその要因と推察されています。

また、朝日地域での一番大きな課題は、1世帯当たり人員が大きく減少していることと考えます。

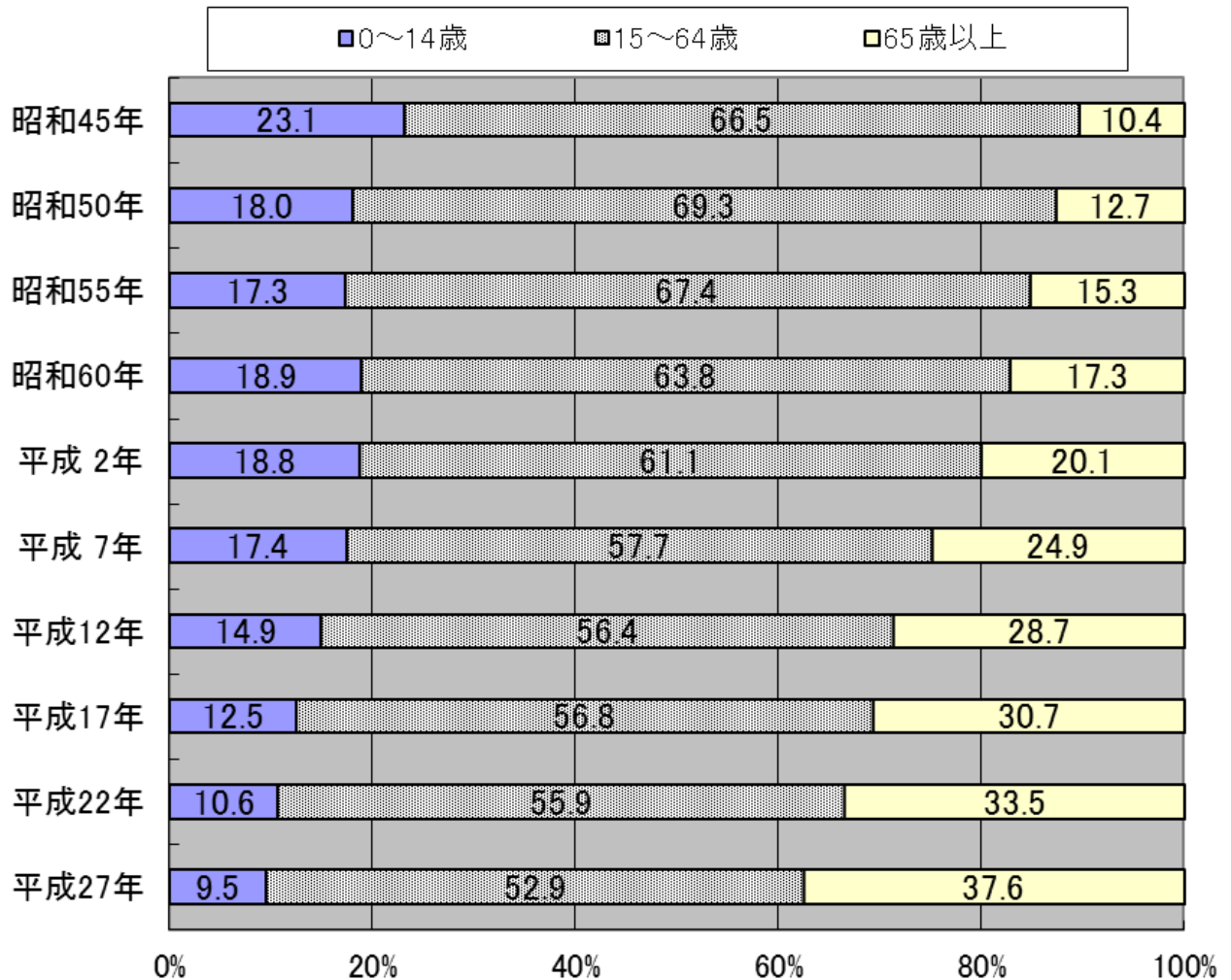
(昭和35年から平成27年まで)朝日地域世帯員数の推移



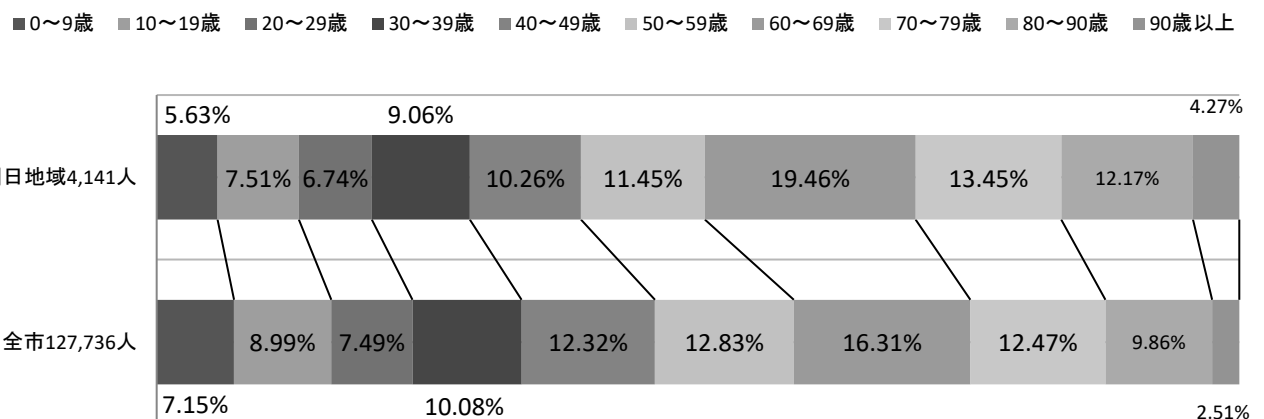
人口減少率に対し世帯数の減少率が低く、1世帯当たりの構成員数が昭和35年の5.85人から平成27年の3.46人と大きく減少しています。これは世帯単位で行っていた農業や地域での共同作業等を支えることが今後できなくなる可能性を示唆していると考えています。

合わせて高齢化率も、65歳以上人口が全市平均33.63%に対し朝日地域が39.58%、75歳以上人口も18.26%に対し23.16%と市全体より高い数値を示しています。また、年少人口も市全体11.38%に対し朝日地域9.44%と、より少子化が進んでいる状況にあります。

朝日地域全体 年代別人口構成の推移



年齢別構成比の詳細 (H30.3.31 町別各歳別人員集計表より)



(2) 「克雪対策への支援」

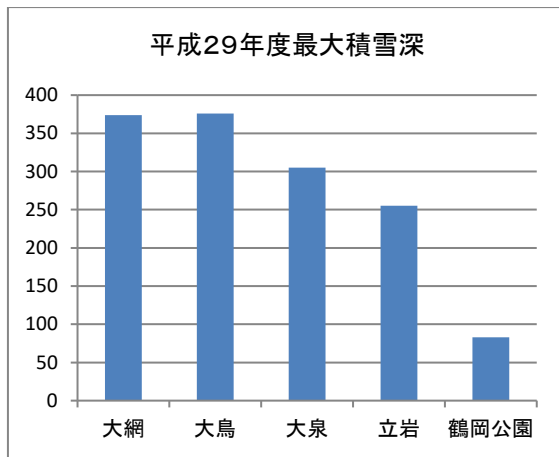
地域振興懇談会や住民懇談会、また集落等での会合で話題となるのが「雪」への課題意識です。

朝日地域は全国でも有数の豪雪地帯です。平成29年度鶴岡市豪雪対策本部資料によると、鶴岡公園の最大積雪深が83cmであるのに対し、庁舎周辺の立岩で255cm、大網・大鳥地域でそれぞれ374cm、376cmと市中心地と比較し、3倍から4.5倍の積雪量が観測されました。

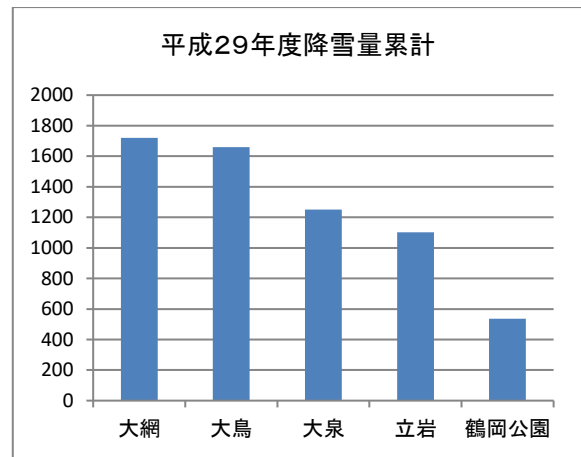
また、平年並みといわれる平成28年度最大積雪深でも、鶴岡公園、立岩、大網、大鳥で比較した場合、54cm、140cm、224cm、232cmと、豪雪年と同じく3倍から4.5倍の積雪量が観測されています。

さらに、日々の除排雪作業や雪下ろしの判断基準となる降雪量累計も、鶴岡公園の537cmに対し、立岩で1,101cm、大網・大鳥地域でそれぞれ1,721cm、1,660cmと極めて多く、1日当たりの降雪量も大鳥で最大81cm、立岩でも68cmと鶴岡公園の最大積雪量83cmとほぼ同量の雪が24時間で降る日があります。

この豪雪により、玄関前除雪や屋根の雪下し等、除排雪作業のための労力が地域住民の大きな負担となつてのしかかることから、定住対策の上で大きな課題となっています。



大網	大鳥	大泉	立岩	公園
374	376	305	255	83



大網	大鳥	大泉	立岩	公園
1,721	1,660	1,251	1,101	537

土木課・朝日庁舎産業建設課データ (単位: cm)



4 地域振興施策の基本方針

(1) 地域のこれからの方向性

中山間地域の暮らしを守り、支える取組み

市全体でも人口減少や少子高齢化が進む中、中山間地域である朝日地域は特にその傾向が顕著で、山林や農地、雪下ろし等を含めた建物等の維持はもとより、長年維持されてきた集落機能が脆弱化し自治会運営・共同作業等、地域維持のための活動も困難となっています。

特に、朝日地域は山間地が多く全国的にも有数の豪雪地帯であるとともに、学校・病院等生活利便施設への距離も遠く、平野部に比較して気象・風土・地形に起因する不安要素も大きいことから厳しい定住環境にあります。

また、通院・通学、買い物等、生活交通確保のために路線バス減便に伴い市営バスを運行していますが、生活交通確保対策とともに観光二次交通の確保も課題となっています。合わせて、農林業等の低迷が続く中、後継者や働き手不足により山林・農地の荒廃、有害鳥獣被害の増加が顕著で、耕作意欲の減退を招いている状況です。

そのため、今後も住み慣れた地域に住み続けるための施策として、住民一人ひとりの安全・安心が確保され、健康に生活できる環境整備を進めます。

また、産業の振興、地域コミュニティの維持再生、交流の促進、自然環境、観光施設等の地域資源を活かした多角的な地域活性化の取組を進めます。

(2) 施策の基本方針

I 中山間地域における定住環境の支援

○ 施策の方向

地域住民が住み慣れた地域で安心・安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備・支援を行います。また、住民による生活基盤の維持・強化に係る取組を支援するとともに、次世代を担う人材の育成を進め、中山間地域の暮らしを守り支える取組を行います。

○ 主な施策

① 自主防災活動と防災基盤の強化

防災拠点施設からの距離が遠く、豪雪、風水害等の災害発生時に孤立集落となる危険性のある地域に対して、災害対応力を発揮できるよう自主防災組織の活動を支援するとともに、消防施設等防災設備の整備を推進します。

② 過疎地域のコミュニティ組織への支援

地域の実情に応じた既存集落の維持を図るための支援とともに、広域的な視点による集落間の連携強化を目指し、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を推進します。

③ 地域内生活交通の確保

学校、病院等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や利用者の需要に応じた、きめ細やかな地域内交通対策を推進します。

④ 快適で安心・安全な住環境整備への支援

除雪支援等、雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進します。

- ⑤ 高齢者がいきいきと生活できる環境整備
高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図ります。
- ⑥ 地域を支える人材の育成
豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進めます。また、交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進します。
- ⑦ 情報化社会に対応した環境整備
収益性の面から通信事業者の参入が見込めない朝日地域において、情報基盤設備格差是正のため、ブロードバンド環境整備を推進します。

II 森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興

○ 施策の方向

これまでの農業基盤や生産技術に創意・工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品の販売支援、特産品の開発、既存商品のブラッシュアップ、農地保全のための仕組みづくり等を通して、中山間地型複合経営を目指します。また、広大な森林資源を活用した特用林産物の生産支援等を行い、山林の荒廃防止と資源循環を目指します。

○ 主な施策

- ① 中山間地域における持続的な農業体系の整備
出荷手段を持たない高齢者等への支援を行い、生産意欲を喚起するとともに、月山ワイン、山菜、そば等、地域内農産物の生産振興や新たな特産品開発への支援、交流等による販路拡大のための取組みを推進します。また、鳥獣被害防止対策の取組みを推進します。
- ② 森林資源の有効な保全と活用
用材林、薪炭等の活用を推進するとともに、菌茸等の特用林産物の栽培研究や技術研究等を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進します。

III 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

○ 施策の方向

豊かな自然や山岳信仰等、多種多様な観光資源を組み合わせた誘客を推進するとともに、地域にある自然や文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通して、地域の活性化につながる観光振興を目指します。

○ 主な施策

- ① 観光振興施設と観光者受入環境の整備
湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村、月山あさひ博物村など地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、通年型観光による誘客を図るための条件整備を推進するとともに、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援します。
- ② 地域の自然、文化、食の魅力の発信

日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等を情報発信により観光資源として活用し交流人口の拡大を図ります。

5 具体的な展開施策

I 中山間地域における定住環境の支援

① 自主防災活動と防災基盤の強化

防災拠点施設からの距離が遠く、豪雪、風水害等の災害発生時に孤立集落となる危険性のある地域に対して、災害対応力を発揮できるよう自主防災組織の活動を支援するとともに、消防施設等防災設備の整備を推進します。

- ・地域防災力強化のため、防災訓練等を通じた防災関係機関・団体と自主防災組織等との連携強化を進めます
- ・災害時の情報共有手段確保のため、音声告知端末をはじめとした情報機器の維持強化を進めます
- ・遠隔地で、火災通報後の初動対応に地域住民の活動が必要不可欠である地域の防災力強化のため、消防施設整備に対し支援を行います

② 過疎地域のコミュニティ組織への支援

地域の実情に応じた既存集落の維持を図るための支援とともに、広域的な視点による集落間の連携強化を目指し、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を推進します。

- ・地域コミュニティ組織維持のため、地域の実情に配慮した交付金等の支援を行います
- ・過疎集落の実態把握と集落対策を支援するため、集落支援員を設置し住民が主体となった取組を支援します
- ・「住み続けられる地域の実現」を図るため、地域住民が主体となり課題解決や地域資源を活用した地域づくりを推進し暮らしを支える新しい地域運営の仕組みを創っていく取組として「小さな拠点」事業を行います
- ・身近な地域課題に住民が取り組む拠点施設として、コミュニティセンター等の整備拡充を進めます

③ 地域内生活交通の確保

学校、病院等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や利用者の需要に応じた、きめ細やかな地域内交通対策を推進します。

- ・バス事業者による路線バスの運行と合わせ、市営バスの運行を行います
- ・遠隔集落における地域内運送事業を支援します
- ・高等学校等生徒の通学費用負担軽減のため、支援を行います

④ 快適で安心・安全な住環境整備への支援

除雪支援等、雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進します。

- ・克雪住宅及び克雪対策生活道路等の整備に対し、支援を行います
- ・玄関前除雪等、除排雪作業への支援を行います

⑤ 高齢者がいきいきと生活できる環境整備

高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図ります。

- ・介護予防活動の普及を進めるため、地域の担い手育成を支援します
- ・介護予防及び健康増進を図るため、かたくり温泉ぼんぼの運営を支援します
- ・診療所施設を維持し、地域医療の充実を図ります

⑥ 地域を支える人材の育成

豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進めます。また、交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進します。

- ・大鳥自然の家の環境整備とともに、活動プログラムの拡充を図ります
- ・国際理解・国際交流推進のため、交流派遣事業への支援を行います

⑦ 情報化社会に対応した環境整備

収益性の面から通信事業者の参入が見込めない朝日地域において、情報基盤設備格差是正のため、ブロードバンド環境整備を推進します。

- ・情報通信の高度化に対応するため、ブロードバンド環境の再構築を行います

II 森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興

① 中山間地域における持続的な農業体系の整備

出荷手段を持たない高齢者等への支援を行い、生産意欲を喚起するとともに、月山ワイン、山菜、そば等、地域内農産品の生産振興や新たな特産品開発への支援、交流等による販路拡大のための取組を推進します。また、鳥獣被害防止対策の取組を推進します。

- ・地域の特産品として、山ぶどう及びそばの振興を図ります
- ・都市交流等を核とした特産品販売促進への支援を行います
- ・地域交通のバスハブ機能を併せ持ち、地域内外の交流及び情報提供の場としても活用できる農産物直売施設を整備し、出荷販売体制を構築します
- ・山菜種苗の導入支援等により、山菜栽培の拡大を図ります
- ・地域伝統料理の継承により、世代間・地域間の交流を促進します
- ・野生鳥獣の食肉加工施設の整備を行います

② 森林資源の有効な保全と活用

用材林、薪炭等の活用を推進するとともに、菌茸等の特用林産物の栽培研究や技術研究等を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進します。

- ・菌茸類の導入に対し支援を行うとともに、研修会等を通し生産者への支援を行います
- ・計画的な伐採への支援により、菌茸類の原木確保と山林荒廃防止を図ります

III 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

① 観光振興施設と観光者受入環境の整備

湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村、月山あさひ博物館など地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、通年型観光による誘客を図るための条件整備を推進するとともに、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援します。

- ・外国人観光客も含めたインフォメーション機能充実のため、観光看板の設置を行います
- ・道の駅「月山」の施設整備とともに、森林インストラクター等の人材育成を行い、受け入れ環境の整備を進めます
- ・あさひ自然交流施設の環境整備を行います
- ・地域内観光地へのアクセスを確保するため、市営観光バスを運行します

② 地域の自然、文化、食の魅力の発信

日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等の情報発信を図り観光資源として活用し、交流人口の拡大を図ります。

- ・淡水魚の放流を行い、釣り客等の誘致を進めます
- ・デジタル簡易無線を活用し、登山客への情報提供を進めます
- ・食と街道を組み合わせた活用やガイド（山船頭人）育成への支援を行い、六十里越街道の活用を図ります
- ・フェイスブック等、SNSを活用した情報発信により、月山ワインやそば等地域の食文化を地域内外のイベント等で発信し、交流人口の拡大を図ります

地域まちづくり未来事業 予算要求一覧

NO	事業名	事業の内容	実施年度
1	初期消火体制構築事業	消防分署からの距離が遠く、火災通報後の初動対応に地域住民の活動が必要となる地域の消火栓ホース整備への支援を行う	H 3 1 から
2	助け合い玄関前除雪事業	コミュニティセンターが除雪機所有者とサービス受給者との調整を行い、要支援者の玄関前除雪を行った際の費用に対し支援を行う	H 3 1 から
3	大鳥自然の家環境整備事業	施設環境整備のため、バリアフリー化を推進するとともに、キャンプ場の整備及び自然教育プログラムの管理運営と拡充を行う	H 3 1 から
5	朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業	高校通学時にバス定期を購入する保護者への支援を行う (温海地域でも要求予定)	H 3 1 から
6	遠隔集落における地域内運送事業	地域主体（広域コミュニティ組織等）による高齢者等地域運送事業への支援を行う	H 3 1 から
7	国際交流派遣事業	中高生の海外派遣事業に対し、参加者への支援を行う	H 3 1 から
8	地域情報広報事業	朝日地域の情報をまとめた地域振興カレンダーの作成を行う	H 3 1 から
9	健康長寿地域担い手育成事業	介護予防活動の普及を図るため、世話役・リーダー役の育成や機材整備を行う	H 3 1 から
10	介護予防・健康増進事業 (かたくり温泉入浴施設管理事業)	地域住民の介護予防及び健康増進を図るため、温泉入浴施設の管理運営団体への支援を行う	H 3 1 から
11	雪に負けない住環境整備事業	克雪住宅整備事業、克雪対策生活道支援事業により支援を行う	H 3 1 から
12	山里の食文化発信事業	<p>(パッケージ型の施策として整理統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興施設整備事業 農産物直売施設を整備する。バスターミナルを併設し観光市営バスの拠点とすることで、地域の農産物や伝統料理を広くPRする場を整備する ○朝日産そば提供拠点整備事業 朝日地域そばの製粉施設を大梵字に整備し製粉工程の見学を可能とすることで、100%地域産そばの味覚をPRし消費拡大につなげる ○地域伝統料理の継承事業 地域で作られていた料理の講習会を通じて広くPRすることで、地域の農産物・林産物等の需要を拡大する ○山ぶどう産業自立支援事業 ワインまつりや販売活動、新品種導入を支援することにより販売の増加をはかり、原材料の需要拡大につなげる ○特産品販売促進支援事業 墨田区との交流事業展開により、地域産品の販路拡大につなげる 	H 3 1 から

地域まちづくり未来事業 予算要求一覧

NO	事業名	事業の内容	実施年度
13	山里の宝掘り起し事業	<p>(パッケージ型の施策として整理統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山菜産地化事業 山菜種苗の導入補助や栽培実証実験・技術研修の開催により山菜栽培の拡大をはかる。 ○ジビエ施設整備事業 有害鳥獣駆除や狩猟によって捕獲した野生鳥獣の食肉加工施設を整備し、市場流通をはかる。 ○特用林産生産支援事業 新たな菌茸類の栽培に向けた種菌の導入や栽培技術の研修会の開催によって生産量の拡大をはかる ○森林荒廃防止支援事業 計画的な伐採により菌茸栽培のための原木を確保し、山林の荒廃を防ぐ活動を支援する。 	H31から
14	観光による交流人口拡大事業	<p>(パッケージ型の施策として整理統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光看板設置事業 朝日地域を訪れた観光客が、目的地に確実に到達できるように観光案内標識を整備する ○六十里越街道活用事業 食と街道を組み合わせた活用事業等への補助やガイド育成事業への補助を行い、六十里越街道を活用した事業展開を活性化する ○観光市営バス運行事業 土日に地域内の観光地を訪れる方のために、市営バスを運行し観光客の増大をはかる ○タキタロウネット活用事業 デジタル簡易無線を活用して、朝日連峰の気象情報等を登山者間や避難小屋間で共有することにより、安全で快適な山岳観光を確立する ○大鳥淡水魚活性化事業 溪流釣り対象魚の放流により遊漁料収入の増加させ放流事業の自立化と、入込客の増加による地域の活性化をはかる 	H31から
15	観光受入施設整備事業	<p>(パッケージ型の施策として整理統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅「月山」整備事業 道の駅「月山」の化石標本レプリカ作成や木製遊具の整備を行うとともに森林インストラクターの育成を行い、事業を展開する ○月山あさひ博物村ふれあい橋施設改修事業 ふれあい橋の年次的な修繕の実施 ○あさひ自然交流施設、維持管理事業 リフト修繕、駐車場舗装修繕、ゲレンデ修繕、キャンプ村施設修繕等の実施 ○タキタロウ館・大鳥多目的運動広場修繕事業 タキタロウ館（屋根・窓・駐車場）、大鳥多目的運動広場（トイレ・駐車場）の修繕 ○大鳥避難小屋修繕事業 大鳥池避難小屋の窓枠等の修繕 	H31から

鶴岡市総合計画 基本計画（素案）

基本計画（施策の大綱）各章の構成

第1章 地域の生活環境を保全し、一人ひとりの心が通い合い、お互いを見守り、支え合い、安心して暮らしていける地域コミュニティを構築します

第2章 市民一人ひとりが生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる健康福祉社会を形成します

第3章 歴史と伝統に育まれた優れた文化のもと、ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人間の形成に向けて、学びや体験ができる環境を整えます

第4章 人が集いチャレンジできる資源・経済循環型の魅力ある農林水産業、農山漁村を形成し、農林水産業の産出額のさらなる拡大と農林水産業者の所得向上を目指します

第5章 市民の暮らしを潤す力強い産業を振興するとともに、地域経済を支える人材を育てながら、新しい時代の交流を図り、多くの人をひきつける地域をつくれます

第6章 地域の生活や活動を支える基盤を整えるとともに、交通・情報ネットワークをさらに充実させて市域内外の交流を拡大します

* 地域振興の章

第7章 各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

第1節 鶴岡地域

第2節 藤島地域

第3節 羽黒地域

第4節 櫛引地域

第5節 朝日地域

第6節 温海地域

第5節 朝日地域

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史・文化が育まれてきた地域です。全国的にも有数の豪雪地帯であり、山間地という地理的条件上、平野部と比較すると厳しい住環境にあり、人口減少や少子高齢化の傾向が特に顕著となっています。

住民が住み慣れた地域で安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備や住民による生活基盤の維持強化の取組みの支援など、地域の暮らしを守り支える取組を進めます。

これまでの農業基盤や生産技術に創意工夫を加えた農業施策や、森林資源を活用した振興方策により農地・山林の荒廃を食い止め、農林業の持続的な振興を図ります。

豊かな自然や山岳信仰等、多種多様な観光資源を組み合わせ、地域内の自然や伝統文化、食の魅力を存分に楽しめる環境を整備し、交流人口の拡大による観光振興を推進します。

(1) 中山間地域における定住環境の支援

○施策の方向

地域住民が住み慣れた地域で安心・安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備・支援を行います。また、住民による生活基盤の維持・強化に係る取組を支援するとともに、次世代を担う人材の育成を進め、中山間地域の暮らしを守り支える取組みを行います。

○主な施策

(ア) 自主防災活動と防災基盤の強化

防災拠点施設からの距離が遠く、豪雪、風水害等の災害発生時に孤立集落となる危険性のある地域に対して、災害対応力を発揮できるよう自主防災組織の活動を支援するとともに、消防施設等の整備を推進します。

(イ) 過疎地域のコミュニティ組織への支援

地域の実情に応じた既存集落の維持を図るための支援とともに、広域的な視点による集落間の連携強化を目指し、持続可能な運営組織の育成と地域活動拠点の整備を推進します。

(ウ) 地域内生活交通の確保

学校、病院等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や利用者の需要に応じた、きめ細やかな地域内交通対策を推進します。

(エ) 快適で安心・安全な住環境整備への支援

除雪支援等、雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進します。

(オ) 高齢者がいきいきと生活できる環境整備

高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図ります。

(カ) 地域を支える人材の育成

豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進めます。また、交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進します。

施策の成果指標

項目（測り方）	現状値	目標値
検 討 中		

(2) 森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興

○施策の方向

これまでの農業基盤や生産技術に創意・工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品の販売支援、特産品の開発、既存商品のブラッシュアップ、農地保全のための仕組みづくり等を通して、中山間地型複合経営を目指します。また、広大な森林資源を活用した特用林産物の生産支援等を行い、山林の荒廃防止と資源循環を目指します。

○主な施策

(ア) 中山間地域における持続的な農業体系の整備

出荷手段を持たない高齢者等への支援を行い、生産意欲を喚起するとともに、月山ワイン、山菜、そば等、地域内農産物の生産振興や新たな特産品開発への支援、交流等による販路拡大のための取組を推進します。また、鳥獣被害防止対策の取組を推進します。

(イ) 森林資源の有効な保全と活用

用材林、薪炭等の活用を推進するとともに、菌茸等の特用林産物の栽培研究や技術研究等を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進します。

施策の成果指標

項目（測り方）	現状値	目標値
検 討 中		

(3) 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

○施策の方向

豊かな自然や山岳信仰等、多種多様な観光資源を組み合わせた誘客を推進するとともに、地域にある自然や文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通して、地域の活性化につながる観光振興を目指します。

○主な施策

(ア) 観光振興施設と観光者受入環境の整備

湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村、月山あさひ博物村など地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、通年型観光による誘客を図るための環境整備を推進するとともに、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援します。

(イ) 地域の自然、文化、食の魅力の発信

日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等を情報発信により観光資源として活用し、交流人口の拡大を図ります。

施策の成果指標

項目（測り方）	現状値	目標値
検 討 中		

この10年間で鶴岡市、朝日地域に大切なもの(こと)

楽しい交流が生まれるまち

多世代が集い楽しく交流できるカフェと、そこまでの公共交通手段。そして夜遅くでも若者が飲んだり騒いだり楽しめて、宿泊もできる施設が欲しい。

多世代の住民が世代をこえて集えるカフェのような場所を整備する	ほんぼに宴会ができるレストランや宿泊機能も整備し、健康とにぎわいの拠点施設にする	若者が気軽にカラオケや宿泊でき、夜遅くでも集まって騒げる場所がほしい
地域が広いので飲酒後に宿泊できる施設がほしい	子供や高齢者も使える車以外の移動手段を確保することが大事	

安心して暮らせるまち

道路等の改良工事や、除排雪、倒壊空き家、携帯エリア拡大等への対策を行い、安心して暮らせるようにする。

地域内には県道でも道幅が狭いところや街灯が少なく危険な場所があるので対策が必要だ	倒壊した空き家が放置されないような対策が必要だ
克雪住宅への支援の充実、雪下ろしの支援、夜間除雪の実施など、より雪の対策を手厚くする	どこでもケータイがつながるようにしてほしい

家と仕事がすぐ見つかるまち

空き家バンク等により気軽に住める支援を行いながら、地域資源を活用した仕事(雇用)を創出する。

定住対策として、空き家バンクの仕組みをつくって空家の貸し出しと新築住宅に対する支援があるとよい	地域の近くに森林管理をしながら自然に親しめるような仕事(職場)を作る	ほんぼの温泉の塩分を商品化して販売する
---	------------------------------------	---------------------

安心して子育てでき、伝統文化がつながるまち

安心して子育てできる環境を保全・整備する。また、教育負担を軽減しつつ子供の教育水準の確保と、地域の伝統文化を学ぶ機会を設ける。

子供が自然の中でのびのび遊べる環境を維持するため、山や川の環境を保全していくことが大切だ	子供が雨でも安心して遊べるアスレチック施設が欲しい	塾など学習環境を充実させ、市内中学校と同水準の教育レベルを維持する
伝統文化の継承と愛郷心を育むため、子供たちと一緒にかんじき作りなど朝日でしか体験できないことを教える	子供たちが動ける範囲にお店(お菓子かったり)がほしい	子供の数を増やすため、3人目は高校の授業料も無償化する

時代に合わせて変われるまち

地域組織でも若い担い手世代が少なくなり高齢化が進んでいるため、これまで通りのやり方や考え方も実情に合わせて変えていく必要がある。

高齢者の見守りのしくみが欲しい	若者も新たにきた人も地域に入れるような集落にしてほしい	若い人が少なく、消防団の演習や大会がとても負担なので、負担軽減と地域のためになる活動を重視するよう見直す
-----------------	-----------------------------	--

訪れたい魅力あるまち

観光拠点となる施設や設備等の環境をより充実させ、地域の魅力を発信して交流人口の拡大や地域振興につなげたい。

地域外の人にも気軽に住める場所や仕事を紹介するよう仕組みをつくり、人を呼び込む	農業体験や山菜料理、雪下ろしツアー等、地域の魅力を都会の人に発信し、交流と販売などを拡大する	湯殿山スキー場をスキー・スノーボに加えスノーシューや自然体験が可能な若者が集える拠点にする	観光案内所と道の駅を落合に移設し、もっと多くの人立ち寄り、利用できるようにすべきだ	朝日は遠くて不便というイメージをなくすため、オーロラビジョンを設置して観光面等のPRを積極的に行う	鶴岡と寒河江を結ぶ鉄路や、朝日と温海を結ぶ道路があれば、交流人口が拡大する	自転車を借りられるところがほしい
---	--	---	---	---	---------------------------------------	------------------

「シンボル」があるまち

地域に住む住民にも地域外の人にも分かりやすく親しみやすいシンボルがほしい。

朝日のシンボルがあるといい

- 1) 2018.7.18
- 2) ところ
鶴岡市朝日庁舎総務企画課内
- 3) データ出所
鶴岡まちづくり塾第5期第4回全体会
朝日グループ参加者 5名
- 4) 製作者
朝日庁舎総務企画課職員